

【議会報告会】

○三重県は地場産品等のPRが不十分だと感じている。四日市市も、市民ですら萬古焼を知らないことがあるので、市民へのPRから、日本中、また、世界へと広めてほしい。

⇒議員 萬古焼については、例えば、土鍋の国内シェアが約8割を占めているものの、名称に地名が入っていないことから四日市市の産品であることはあまり知られていない。知名度アップには依然苦戦しているが、土鍋等はアジアを中心とした海外への販路拡大に取り組んでいる。国内ではなかなか売れない高額な製品も、海外では飛ぶように売れたという事例も耳にしており、そういった機会づくりに市も取り組んでいるところである。

○市の津波対策に危機感を抱いている。国道23号や鉄道路線等を盛土により高くし、防護ラインを設定することを検討するべきではないか。多くの市民の命や財産を守るために、東日本大震災の教訓を生かし、様々な施策の検討が必要である。

⇒議員 当委員会の所管とは異なるが、いただいたご意見については担当部署である危機管理統括部や、所管の委員会に所属する議員に伝える。

⇒議員 災害対策については、様々な立場の方からの意見を広く集めることが大切であり、防護ラインの考えも貴重なご意見として承る。

○四日市港管理組合と四日市市議会と市とが協力して、四日市港の活力を取り戻せるようなPRに取り組んでほしい。

⇒議員 ご意見として承り、担当部局に伝える。

○2050年のカーボンニュートラル達成は世界的な課題であり、全国の自治体それぞれが積極的に取り組んでいかなければならない。経済と環境の問題を一体として捉えて取り組んでほしい。コンビナートに関しての検討だけでなく、市全体のカーボンニュートラル化について市民も交えて議論していくべきである。

⇒議員 商工農水部としては脱炭素化と産業振興の両立に向けて取り組んでおり、今回の

予算では特にコンビナートにおけるカーボンニュートラル化に向けた検討委員会を設置し、学識経験者も交えて四日市コンビナートの生き残りを図ることとしている。また、市民も巻き込んだ市全体でのカーボンニュートラル化の考えも非常に重要であり、そちらについては環境部主導のもとでの事業になるかとは思いますが、議員からも働きかけをしていく。

○SDGs に対しての市の取組には本気度が感じられない。地球の未来、四日市の未来のために本気で考えていくべきである。

⇒議員 ご意見として承る。

【シティ・ミーティング】

《テーマ：地区市民センターの役割について》

○サークル活動や自治会等の集まりで頻繁に地区市民センターを利用しているが、利用希望者に対して施設が狭隘となっている。災害が発生した際の避難所としての役割も考えてこの問題は改善できないのか。

⇒議員 地区市民センターが狭隘となっていることは多くの地区で共通の問題であるが、直ちに建て替えをするのは現実的でないため、使い方を工夫して乗り切っていかなければならないと考える。指摘の点については担当部局に伝え、議員間でも議論をしていく。

○先ほどの意見の通り、自治会活動の際に地区市民センターを利用できず、他の施設を有料で利用せざるを得ない実態がある。そのような場合に補助を受けることはできないのか。

⇒議員 学校等の公共施設を利用している場合もあるとは聞いているが、有料での負担が出てしまっている実態は事実であり、何らかの対策は必要だと考える。ご意見として承り、担当部局に伝え、議員間でも議論をしていく。

○地区市民センターが狭隘であることについては同感であり、老朽化により雨漏りをしているところもあるため、対策を求める。また、防災訓練等にもより力を入れてほしい。

⇒議員 ご意見として承り、雨漏り等の早急な対策が求められるものは担当部局に伝える。

○館長権限予算や地域マネージャーの取組の実態が分かりにくく、地域によって差が出ているようにも見受けられる。実態や効果については市民に対してしっかりと公開すべきである。

⇒議員 各地区市民センターの間で差が生まれてしまっているのは事実であるかと思われる。指摘の点についてはご意見として承り、担当部局に伝える。

○市によるパトロールや地域の見守りを強化してほしい。

○警察の巡回はありがたいが、交番等に常駐する警察官が少なくなるよう注意してほしい。

⇒議員 ご意見として承り、市で対応できるものについては強化が図られるよう担当部局に伝える。